

ダイバーシティ通信

■ 室長就任挨拶 ■

男女共同参画推進室長・副学長 もの創造系領域 教授 木幡 行宏



山路奈保子前室長の転任に伴い、令和4年4月より男女共同参画推進室長に再就任しました。男女共同参画推進室が発足した平成22年10月には、本学の女性教員数は5名でしたが、平成25年9月に文部科学省「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」（平成25年度～27年度）に採択され、また、令和元年7月には、文部科学省・2019年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）（補助期間：令和元年度～3年度）」に採択されました。これは、北海道大学が代表機関となり、共同実施機関として、本学のほか、道内2大学と道内2企業が参画したものです。これらの取り組みや女性限定公募などの実施により、令和4年3月末の女性教員数は15名となりました。

男女共同参画推進室の主な事業として、教職員全員、特に執行部及び管理監督者を対象とした「教職員のためのダイバーシティセミナー」、主として女子学生を対象とした「キャリア形成のためのランチタイムセミナー」、「ライフイベント期（妊娠・育児・介護等）の研究者支援」、「ダイバーシティ全般に係る広報・啓発活動」などがあります。この中で、2つのセミナーは、発足当初から毎年実施されており、研究者支援は、ライフイベント期と研究活動を両立できるよう、支援員の雇用に係る経費の助成を行うものです。

男女共同参画推進室では、引き続き、ライフイベント期の研究者支援を行うとともに、ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）推進に向け、より多くの教職員や学生が関心を持てるようなセミナーのテーマ選定及び各種ウェブサイトやニュースレター等による情報発信を通して、学内外におけるダイバーシティ意識の醸成に寄与して参ります。

女子学生 インタビュー

理工系の室蘭工業大学で、生き生きと学生生活を送る女子学生たちにインタビュー！
進学を決めた理由や、現在学んでいることなどについてお話しいただきました。
将来の目標に向けて前向きに学ぶ姿を見て、「理工系って面白そう!」、「私もやってみたい!」と感じる中高生の皆さんが一人でも増えることを期待しています。

人を助ける仕事に就くために室工大へ

地震や台風による河川の氾濫等の災害が、毎年のように頻発しているのを子供の頃からニュースで目にしていました。家ごと流されたり、誰かが亡くなったりしてインタビューを受けている人を見ると心が痛みました。私一人の力ではどうにもできないことが多いかもしれませんが、減災など人の助けになるような仕事に携わることが出来たら、という想いを持っていました。

室工大を志願した理由は、地元が室蘭でオープンキャンパスに参加したときに、室工大は人のためになるような研究をたくさんしている大学だと知りました。そんな大学が地元にあることが誇らしくて、インフラ整備や災害関連の土木工学コースがある室工大に決めました。

ダムの氾濫を防ぐための計算を プログラミング

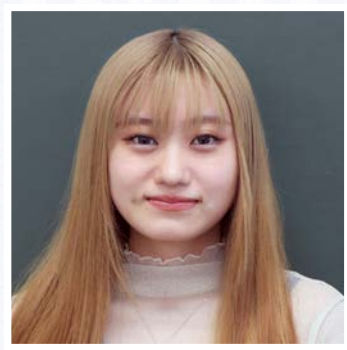
ダムの上流に大雨が降った際に、緊急

放流という言葉をよく耳にしたいと思います。正式には異常洪水時防災操作といい、流入量と同じ量をダムから放流するため下流に大きな影響が出る操作方法で、ダムが氾濫するのを防ぐためやむを得ず行うのですが、甚大な被害につながるのを抑えるための研究をしています。

具体的には札幌の豊平峡ダムと定山溪ダムで、異常洪水時防災操作が行われるような状況、つまり、水がダムから溢れしてしまうような状況についてプログラミングにより計算し推定しています。二つのダムの間でどのように連携操作をしたら氾濫せずにそのまま運用できるかということもプログラミングで計算しています。

計算した結果が正解だった時の達成感

プログラミングについては、最初は本当にわからなかったのですが、先輩や先生に教えてもらいながら取り組むうちに、ちょっとずつできるようになりまし



博士前期課程
環境創生工学系専攻
土木工学コース2年生

西島 星蓮さん

た。プログラミングは大変ですが、実際に起こった事例を再現する再現計算では、計算結果が実例にぴったりと当てはまった時、「これが正解だ!」という達成感ですごく嬉しかったです。

強靱なインフラで人々の暮らしを助ける仕事を

就職先は上下水道や河川或いは環境等の調査・計画・設計等を行うコンサルタント会社です。人々の生活をより豊かにするため、災害の発生に備えて強靱なインフラを作る計画や設計を通して、人々の暮らしを助ける仕事ができるように頑張るのが目標です。人々が悲しまないで平和に暮らせる社会、災害等に怯えないで過ごせる社会になれば嬉しいです。

女子も楽しく過ごせる大学

図書館が改装されたり、カフェが出来たり、新しい設備も出ていて、女子学生の数も年々増えています。女子も過ごしやすい環境になってきていると感じます。工学部は男子が多く女子には向いてないというイメージがあるかもしれませんが、そんなことはないと思うことが多いです。

この大学に入って6年目ですが、楽しい思い出ばかりで、周りも楽しい人ばかりです。私が感銘を受けたオープンキャ

ンパスにも、ぜひ一度参加して、大学の雰囲気味わっていただけたらと思います。



設計を通して、平和に暮らせる社会・災害等に怯えないで過ごせる社会に

■ 附属図書館共催 英語論文セミナー ■

「アクセプトへの第一歩！英語論文執筆のA to Z：英文校正のプロが具体的な注意点を解説」

講師：【英語編】サザンクロス株式会社 代表 Garry Heterick 氏
 【日本語編】同社 中西 綾子 氏
 日時：令和4年7月7日（木）【日本語編】13:30～15:00 【英語編】15:30～17:00
 開催方法：オンライン（Zoom）
 対象：若手研究者、大学院生
 共催：附属図書館

附属図書館と共同で開催する、英語論文セミナー「アクセプトへの第一歩！英語論文執筆のA to Z：英文校正のプロが具体的な注意点を解説」を令和4年7月7日（木）オンラインにて開催し、日本語編は37名、英語編は15名が参加しました。

講師はサザンクロス株式会社よりGarry Heterick 氏（代表）と中西 綾子 氏をお迎えし、英語論文を執筆する上での重要なポイントや注意点等について、昨年度同様英語編と日本語編に分けて講義いただきました。

アンケートでは、80%が「満足」もしくは「ほぼ満足」と答え、「英語論文のみならず通常の論文でも役に立つ情報だった」などの好意的な感想が寄せられました。

英文校正のプロが具体的な注意点を解説

Zoomで開催
 アクセプトへの第一歩！
英語論文執筆のA to Z
 English article writing from A to Z

7/7 (Thu)	13:30-15:00	日本語での編成
	15:30-17:00	英語での編成

←申し込み方法はコチラを参照ください
<https://www.geu.kit.ac.jp/2022/07/07/>

主に若手研究者、大学院生（他の男女連携関係）

英語版・講師紹介：日本語版と同様に紹介いたします
 Mr. Garry Heterick, PhD (サザンクロス代表)
 Garry Heterick is a professional English proofreading and editing service provider. He has been working in the field of English proofreading and editing for over 10 years. He has a rich experience in proofreading and editing various types of English documents, including academic papers, business documents, and general correspondence. He is a native English speaker and has a deep understanding of the nuances of the English language. He is committed to providing high-quality proofreading and editing services to his clients, ensuring that their documents are error-free and easy to read.

附属図書館 学務課 学術情報課 附属図書館 蔵書課
 0117-46-5131, ufr@mmm.muroran-it.ac.jp

令和4年4月1日より不妊治療と仕事の両立を支援するための休暇が導入されました

「不妊治療と仕事の両立を支援するための休暇」は常勤職員・非常勤職員ともに不妊治療に係る通院等の際に使用できる有給の特別休暇です。

年5日まで、1日、1時間または1分単位で取得することができます。ただし、体外受精その他学長が定める不妊治療に係るものである場合は、年10日まで取得できます。

また、非常勤職員の特別休暇については上記のほか、令和4年4月より以下のとおり規則改正されました。

変更	新設
・産前休暇（無給→有給・産前6週間の期間）	・配偶者出産休暇（有給・2日）
・産後休暇（無給→有給・産後8週間）	・育児参加のための休暇（有給・5日）

※勤務日数等、雇用条件によっては上記休暇を取得できない場合もあります。詳細は総務広報課事務管理係までお問い合わせください。



ダイバーシティ通信 第16号（2022年9月）

国立大学法人 室蘭工業大学 男女共同参画推進室 女性研究者支援ユニット（UFR）
 〒050-8585 北海道室蘭市水元町27番1号 TEL：0143-46-5018 / FAX：0143-46-5032
 E-mail：ufr@mmm.muroran-it.ac.jp URL：https://www.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/

本誌および大学の男女共同参画等についてのご意見・ご要望をUFRまでぜひお寄せください。

男女共同参画推進室
 Office for Promotion of Gender Equality

**女性研究者
 支援ユニット**
 Unit for Female Researchers

大学の男女共同参画推進を応援して下さる個人・企業からのご寄付を受け付けております。詳しい手続きは下記URLをご覧ください。
https://www.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/kifu.html
 ぜひご協力を賜りたく、お願い申し上げます。